

サツドラホールディングス株式会社



- ・地域住民の健康づくりや地域の活性化に貢献するまちづくり
- ・地域の子どもたちに向け、社会学習の機会の提供を通したまちづくり
- ・産業や雇用の活性化につなげるまちづくり
- ・身近な暮らしに安心あるまちづくり
- ・その他両者の協議により決定した事項

1972年、医薬品等を販売する店舗の経営会社として株式会社サッポロドラッグストアは札幌市で創業しました。2016年には、株式会社サッポロドラッグストアなどをグループ会社化し、純粋持株会社となるサツドラホールディングス株式会社を設立、地域マーケティングやインバウンドマーケティングの推進事業、AIやPOS等のテクノロジー分野における開発事業、エネルギー事業、教育関連事業など、幅広い事業を展開しております。

「健康で明るい社会の実現に貢献する」という経営理念の下、グループ全体で様々な社会課題の解決を図るべく、北海道に住む人々の暮らしを豊かにする取り組みを行うとともに、今回の連携中枢都市圏パートナー協定を通して、サツドラ店舗や自社で開催するイベント、自社媒体等を活用し、地域に住む人々が健康で耀き続けられるよう貢献し、安心して住み続けられるまちづくりを行ってまいります。



札幌市では、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるため、関係11市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町）とともに、「さっぽろ連携中枢都市圏」を形成しました。

さっぽろ圏域は、構成市町村がそれぞれの特徴を活かしながら、密接な連携と役割分担の下で、住民生活や圏域経済に資する取組を行うことにより、住みたくなる人が多くなる、投資したくなる会社が増えていく、さまざまな面で「選ばれる」圏域を目指していきます。

【札幌市 HP】 <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/renkeichusu/renkeichusu.html>